

地域密着型サービス 運営推進会議報告書

施設名 : 湖水苑

施設種類 : グループホーム

日時 : 令和 6 年 5 月 8 日 (水) 14:00~15:00

場所 : グループホーム湖水苑 地域交流ホール

参加者 : ご利用者ご家族様、民生委員様、第三者委員様 2 名、高齢者
あんしん支援センター様、湖陵駐在所様 (欠席)、
湖水苑施設長、グループホーム湖水苑 管理者

※報告書に掲載している写真はご家族へ掲載の了承を得て掲載しています

議題

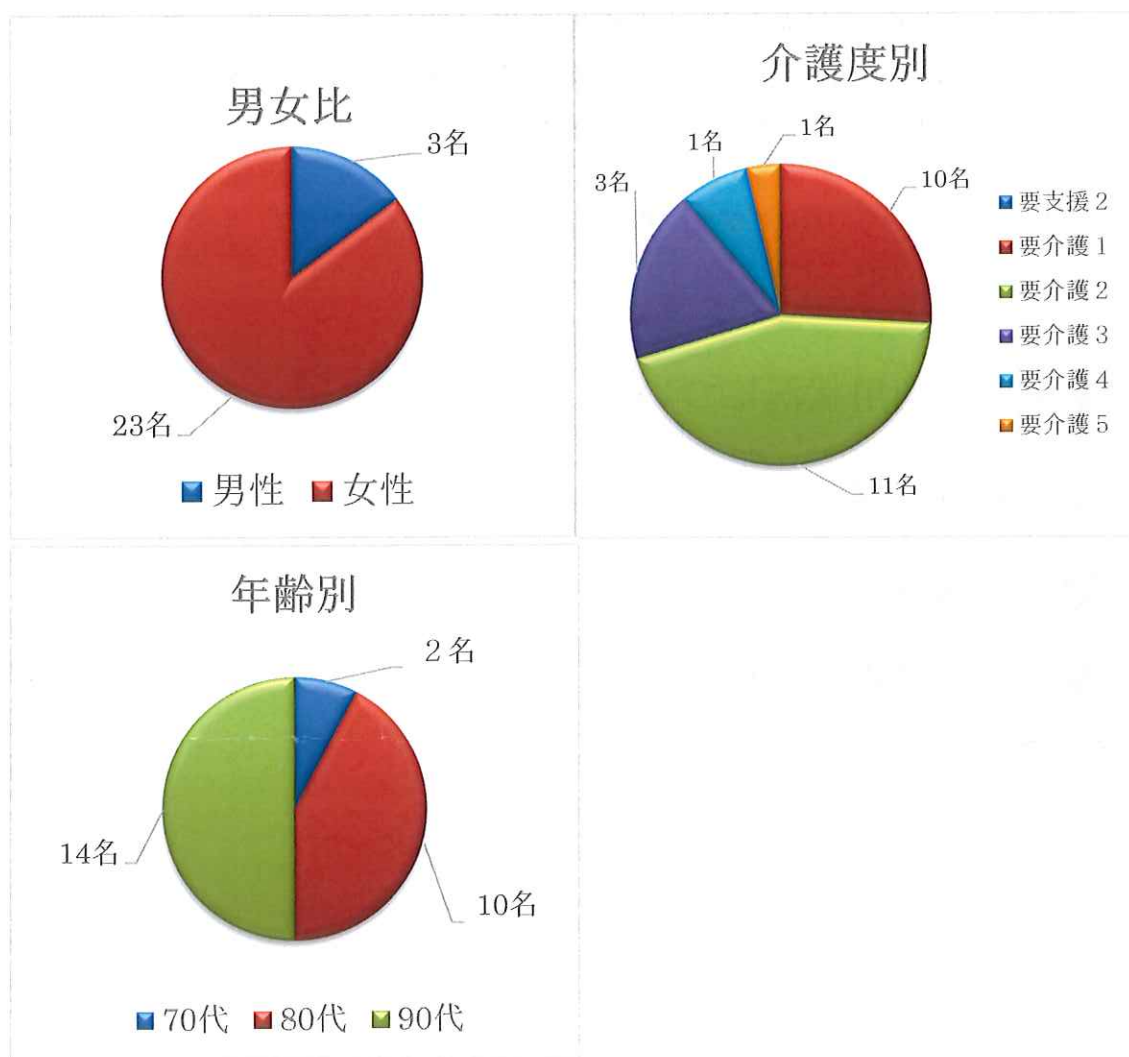
- 現在の利用状況について
- 入退所近況
- 近況報告
- 今後の予定について

1 : 利用状況 (R6.5.7 時点)

男性 3 名、女性 23 名 (空床 1)

平均介護度 1.9

平均年齢 88 才



湖陵町 5 名、佐田町 5 名、大島町 1 名、松寄下町 2 名、塩冶町 1 名、
高松町 2 名、今市町 1 名 姫原町 1 名 神西町 2 名、小山町 1 名
大社町 3 名、武志町 1 名 下古志町 1 名

2：入退所近況

《入退所状況》

- ・入所1名 4月1日 在宅より（84才女性 要介護2）
- ・退所1名 4月8日 死亡退所（GHにて看取り）
- ・5月19日 1名入所予定（82才男性 要介護1）

※待機者数（令和6年5月8日時点）：10名

3：近況報告

■看取りケア

4月8日、103才女性の入所者様がグループホームでの看取りにて、お亡くなりになりました。

食事もその時の体調によってムラがある方で食事摂取量も日に日に少なくなってきたおられ、4/1より食事水分とも摂取することが出来なくなられ、ターミナル期へ移行しました。

以前よりご家族ともご本人の終末期についての意向確認を行ってきましたが、『年齢も年齢ですし最後は住み慣れた湖水苑で穏やかに逝ってもらえたらいいと思っています』というご家族のご意向でグループホームにて看取りケアを行いました。

ご利用者のターミナルケアに関わる事が初めての職員もおられ、関りの中でたくさんの学びを頂くことが出来ました。

今回の学びの中で良かった点、もっとこうしてあげたらよかった点、等の意見を職員間で共有し次に活かしていきたいと思いをします。

《研修関係について》

■3月28日新入職員対象の『認知症サポーター養成研修』の開催



3月28日介護職員対象に“認知症を学びみんなで考える”事を目的に認知症サポーター養成研修を開催しました。

研修の中では認知症における病状の進行や具体的な認知症の症状など基本的な事を学ぶとともに、認知症の方と関わる中でどのようなサポート等について学びました。

受講者からは、

『考え方など勉強になりました。今後のケアに活かしていきたいです』

『相手の立場に立って物事が考えられるという事がとても大切であることが学べました』

など、感想を頂くことが出来ました。

今回の研修を通して、認知症を発症しても出来るだけ長く地域で生活出来る事は認知症の方や家族にとって大切な事であり、認知症を身近な事としてとらえる事で認知症の方やその家族を応援するという気持ちを持ってもらえたように思います。

■救命救急講習の開催





研修では AED を使用した心肺蘇生法の手技に加え、介護現場で発生しやすい事故でもある誤嚥した際の対応について学びました。

この研修では、定期的に心肺蘇生法の手技を繰り返し学ぶことで、いざという時に落ち着いて行動が取れる事を目的に開催している研修です。

自分たちがご利用者の方の命を預かっているという気持ちを常に持つことの重要性や、迅速な対応が出来る事で救命率が上がるという事を再認識出来ました。

《事故報告について》

■転倒事故 1 件

利用者：89 才女性 要介護 2 歩行器使用にて日常生活はほぼ自立

事故の概要：4 月 22 日午前 8 時頃、職員が朝食の声掛けの為訪室したところ居室内から『助けて』と声があり。入室したところ床に右側臥位の状態で床に倒れておられた。左大腿部の痛みの訴えあり。

事故の原因：『ベッドから立ち上がって歩行器（馬蹄式）に掴まろうとしたら歩行器が動いて転んでしまった』と話された

事故発生後の対応：

同日 9：00 長男様へ事故の状況説明と、ご本人が左大腿部の痛みを訴えておられる事をお伝えし、午前中に最寄りの協力病院（外科）を受診させてもらう旨をお伝えした。その受診結果によって総合病院の救急外来を受診させてもらうかもしれない事をお伝えした。

同日 11：30 協力病院（外科）受診し、左大腿骨転子部不全骨折の診断。痛み

の訴えもあり県中救急外来を受診し入院となった。

ご家族の意向で4月24日に不全骨折部分をプレートで固定する手術を受けられる事となり、術後のリハビリの状況をみてリハビリ病院へ転院するか GH へ戻られるかを決められるとの事。

※4月23日出雲市へ事故報告書を提出し報告

再発防止へ向けての取り組み：

歩行器を使用して日常生活動作はほぼ自立の方であったが、今回の転倒に繋がった原因を考えると歩行器にブレーキ機能が無い物を使用しておられたため、退院後に歩行器を使用した生活に戻られた場合、ブレーキ付の歩行器を選定し使用してもらう事で再発防止を行う（退院時のご本人の身体状況によって検討予定）

3：今後の予定について

・5月23日 美容ボランティア予定

次回運営推進会議開催日：令和6年7月10日（水）14時～